

9月14日（日）13:50～14:50

「描画とスピリチュアルケア」

現代人は物質的豊かさや便利さを獲得しました。それに引き換えに多忙になり、人の絆が薄れました。今、目に見えないものの大切さに少し気づきはじめています。生きる目的や苦難の意味など、心やたましいの痛みへのスピリチュアルケアが少しずつ進んできました。患者や本人のスピリチュアリティに注目して、宗教や心理学の知見を取り入れながらケアがなされています。描画での可能性について、ご一緒に考えてみたいと願っています。

窪寺 俊之（聖学院大学）